

製品安全データシート（SDS）

作成日 2024/3/25

1：物質 混合物および企業 情報

1-1 製品名	アケルクスポリッシングペースト	英名	Akelux Polishing Paste
製品番号	62029		
用途	研磨剤		
1-2 製造業者／供給者情報			
製造元／供給元	AKEMI chemisch technische Spezialfabrik GmbH		
製造元住所	Lechstrasse D 90451 Nurnberg deuchland		
TEL	+44(171)635-9191	+49(0)911-64296-59	
製造担当部門	AKEMI Laboratory		
1-3 提供者情報			
輸入元／総販売元	藤栄株式会社		
住所	〒 587 0944 大阪府東大阪市若江西新町 4-5-25		
担当部署	貿易 部		
T E L	06-6725-5236		
F A X	06-6725-3366		

2：危険有害性の要約

2-1 物質/混合物の分類

- この製品はCLP規制に従って分類されていません。

2-2 ラベル要素

- 危険標識 無効
- 注意喚起語 無効


2-3 追加情報：

EUH066 皮膚接触を繰り返すと乾燥肌やひび割れの原因になる場合がある。

3：組成および成分情報

3-1 化学物質・混合物の区別：混合物

- 説明：無害な添加物とともに以下に列挙する物質の混合物。

重質アルキル化石油ナフサ	(Naphtha(petroleum), heavy alkylate)	含有量	12.5-25%
CAS：64741-65-7	Flam.Liq.3	H226	
EINECS：265-067-2	 Asp.Tox.1	H304	
インデックス番号：649-275-00-4	Aquatic Chronic4	H413	
登録番号：01-2119472146-39			

- 追加情報：記載された危険指示はセクション16を参照のこと。

4：応急処置

4-1 応急処置の説明

- ・ 一般的な初期手当

具合が悪くなった人を新鮮な空気の中へ連れて行く。

汚染された衣服は直ちに脱がせる。呼吸が不規則な場合、人工呼吸器を使用する。

- ・ 飲み込んだ場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

意識が無い場合は横向きに安定した状態で搬送すること。

- ・ 皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

多量の水と石鹸で洗うこと。

- ・ 眼に入った場合

流水で数分間注意深く洗浄すること。

コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は、外して洗浄をすること。

洗浄後、医師の診断を仰ぐこと。

- ・ 飲み込んだ場合

嘔吐させないようにする、直ちに医師に連絡すること。

大量の水を飲み、新鮮な空気の中へ連れてゆく。直ちに医師に連絡。

4-2 急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候症状

呼吸困難、頭痛、めまい、胃腸疾患、失神、吐き気

4-3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

飲み込んだ場合は、活性炭を添加して胃を洗浄する。

飲み込んだ場合、または嘔吐した場合、肺に入る危険性がある。

5：火災時の措置

5-1 消火剤

- ・ 適切な消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガスを使用する。

粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂

- ・ 不適当な消火剤

フルジェット水

5-2 物質または混合物に起因する特別な危険性

加熱中または火災の際、有毒ガスが発生するおそれがある。

以下のものが放出される。

一酸化炭素 (CO)

特定の火災条件下では、その他の有毒ガスが放出することもある。

5-3 消防士へのアドバイス

消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

爆発ガス、燃焼ガスを吸い込まないようにする。

規定に従って火災の残骸と汚染された消化水を処分する。

消火水は別で回収し、下水道に入り込まないようにする。

6：漏出時の措置

6-1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

漏洩場所を換気する。

作業者は適切な保護具（「8.暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、

眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

6-2 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

万一流れ出た場合は多量の水で希釈する。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

水路または下水道に浸透した場合は、関係局に通知する。

6-3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆っていて密着できる空容器に回収する。

大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

6-4 二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。

7：取り扱いおよび保管上の注意

7-1 取扱い

・ 技術的対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

換気の良い場所で作業する。

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざける。－禁煙

指定された個人用保護具を使用する。

容器を接地する/アースをとる。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。

火花を発生させない工具を使用する。

静電気放電に対する予防措置を講ずる。

- ・ 安全取扱注意事項
 - 換気の良い場所で取り扱うこと。
 - 眼、皮膚又は衣類に付けないこと。
 - 取扱い後は良く手を洗いうがいをする事。
 - 火気注意。
 - ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・ 衛生対策
 - 取扱い後はよく手を洗うこと。

7-2 保管

- ・ 安全な保管条件
 - 涼しい場所で保管すること。
 - 専用の容器で保管すること。容器はしっかりと密閉すること。
 - 熱や日光の下での保管は避けること。霜を避けること。

8：曝露防止及び保護措置

8-2 ばく露防止

- ・ 一般的な保護対策・衛生対策
 - 作業中は飲食、喫煙を避ける。肌の保護のため、スキนครリーム等を使用する。
 - 作業後は肌を洗浄する。汚染された衣類は直ちに取り除く。
 - 食品や飲料の近くに置かない。休憩時や作業後は手を洗浄する。
 - ガスや埃を吸い込まないようにする。目や肌に触れるのを避ける。
- ・ 呼吸用保護具
 - 防毒マスクを使用すること。
- ・ 手の保護具
 - 保護手袋を着用すること。スキン保護クリームを使用する。
 - 対応する手袋の仕様： フッ素ゴム製, ニトリルゴム製
 - 使用不可の手袋の仕様： 天然ゴム、クロロプレンゴム、皮手袋
- ・ 眼の保護具
 - 密閉型のゴーグルを使用のこと。
- ・ 皮膚及び身体の保護具
 - 長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。
- ・ 衛生対策
 - 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
 - 使用の際は、飲食/喫煙をしてはならない。
- ・ 衛生対策
 - 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
 - 使用の際は、飲食/喫煙をしてはならない。

9：物質的及び化学的性質

9-1 基本的な物理化学的特性についての情報

・ 一般情報	
・ 外観	形：液状 色：白
・ 臭い	特徴的
・ 状態の変化	融点／硬化点：未定 沸点／沸点範囲：100℃
・ 引火点	64℃
・ 着火温度	354℃
・ 自動発火温度	製品は自動点火しない。
・ 爆発性	製品は爆発の危険はないが、爆発性空気/蒸気を形成することがある。
・ 爆発限界	下限：0.7 Vol% 上限：6.5 Vol%
・ 20℃での蒸気圧	23hPa
・ 20℃での密度	0.93g / cm ³
・ 水への溶解性／混和性	不溶
・ 粘度	20℃での粘度性：未定 20℃での動粘度性：11s(DIN 53211/4)
・ 溶媒分離試験	<3% 有機溶剤：24.9% 固形分：60.0%

9-2 その他の情報 関連情報はない。

10：安定性および反応性

10-1 反応性

通常の保管・取扱い条件において安定と考える。

10-2 化学的安定性

通常の条件下では安定である。

10-3 危険な反応の可能性

強酸化剤に反応する。

酸、アルカリに反応する。

10-4 避けるべき条件

関連情報はない。

10-5 混触危険物質

関連情報はない。

10-6 危険有害性分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物 (NOx)

1 1 : 有害性情報

11-1 毒性学的影響に関する情報

- 急性毒性：これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

- LD / LC50 分類に関連した値：

ATE (急性毒性推定値)

吸入	LC50/4h	>31.3mg / l (ラット)
----	---------	-------------------

64741-65-7 Naphtha (petroleum), heavy alkylate

経口	LD50	>6,000mg / kg (ラット)
----	------	---------------------

皮膚	LD50	>3,000mg / kg (ウサギ)
----	------	---------------------

吸入	LC50/4h	>7.8mg / l (ラット)
----	---------	------------------

- 皮膚腐食性／刺激性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- 重大な眼の損傷／刺激 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- 呼吸器感作または皮膚感作 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- CMR 効果 (発がん性、変異原性および生殖毒性)
 - 生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
 - 発がん性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
 - 生殖毒性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- STOT 一回暴露 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- STOT 繰り返し暴露 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- 吸引の危険 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。

1 2 : 環境影響情報

12-1 生態毒性

- 水生生物毒性：関連情報はない。

12-2 残留性及び分解性

関連情報はない。

12-3 生物蓄積性

関連情報はない。

12-4 土壌中の移動

関連情報はない。

- 追加の生態学的情報：
- 一般的な注意事項：

製品を地下水や水路に入らないようにすること。

水危険性クラス1 (ドイツ規制) (自己評価) : 水に対してやや有害。

12-5 PBT および vPvB 評価の結果

- ・ PBT：適応なし
- ・ vPvB：適応なし

12-6 内分泌攪乱物質

含まない

12-7 その他の悪影響

関連情報はない。

1 3：廃棄上の注意

13-1 廃棄物処理方法

家庭用ゴミと一緒に廃棄しないこと。下水に流出することを避けること。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

- ・ 汚染容器及び包装

空容器類を破棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

1 4：輸送上の注意

14-1 国際規制

- ・ 海上規制情報
規制対象外

14-2 国連番号

規制対象外

- ・ シッピングネーム
規制対象外

14-3 容器等級

規制対象外

14-4 海洋汚染物質

適応なし

14-5 環境有害性

適用なし

14-6 特別の安全対策

適応なし

「7.取扱い及び保管上の注意」の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

- ・ 陸上規制
消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
- ・ 海上輸送
船舶安全法の規定に従うこと。
- ・ 航空輸送
航空法の規定に従う。

14-7 IMOによる海上輸送上の規制
規制対象外

15：適用法令

15-1 物質の安全性、健康及び環境に関する規制／法律
該当なし

規制に関する情報

15-2 物質または混合物に特有の安全性、健康および環境に関する規制／法令

- ・ 命名された危険物質 付属書 どの成分もリストにはない。
- ・ 国内 規制：
- ・ 使用制限に関する情報： 未成年の雇用制限を守らなければならない。
妊娠中および授乳中の女性の雇用制限を遵守しなければならない。

15-3 化学物質安全性 化学物質安全性評価は実施されていない。

16：その他の情報

この情報は現在の知識に基づいています。ただし、これは商品の性質を保証するものではなく法的に有効な契約上の関係を確立するものではありません。

- ・ 関連フレーズ

H226	引火性の液体、および蒸気
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H413	長期的影響により水生生物に有害のおそれ
- ・ 推奨使用制限 テクニカルデータシート（TDS）を参照してください。
- ・ SDS 発行部門： 研究室
- ・ 連絡先： Elke Hake
- ・ 略語と頭字語：

RID	鉄道による危険物の国際輸送に関する規則 Regulations on Rail
IATA-DGR	国際航空運送協会（IATA）による危険物規制
ICAO	国際民間航空機関
ICAO-TI	国際民間航空機関（ICAO）による技術指導
ADR	道路による危険物の国際輸送に関する合意
IMDG	危険物に関する国際海上コード
IATA	国際航空運送協会

GHS	化学物質の分類と表示の世界調和システム
EINECS	既存の商業化学物質の欧州インベントリ
ELINCS	通知された化学物質の欧州リスト
CAS	ケミカルアブストラクトサービス(アメリカ化学協会の部門)
LC50	致死濃度 50%
LD50	致死量 50%
PBT	持続性、生物蓄積性および毒性
vPvB	非常に持続性の高い生物蓄積性
Flam.Liq.3	可燃性液体 カテゴリー 3
Asp.Tox.1	吸入の危険 カテゴリー 1
Aquatic Chronic 4	水生環境に有害/長期水生ハザード カテゴリー 4

- ・ 本記載内容は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改定される事があります。また、注意事項は通常の実施を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。